

季節

時代をかける



第六号

石田 絢子 高橋有希奈 掛川 萌恵
井上陽介 樋口雄大

入学おめでとーございませう

新入生のみなさんは、授業も始まり、新しい友達もできて、奈良学園の雰囲気慣れしてきた頃でしょう。でも、新しい環境は気が張るので、疲れやすくなります。体調を崩さないように、十分気をつけてください。



さて、剣道部に新入生が入ってきました。初めて竹刀を持ち、とまどいながら懸命に練習する姿を見ていて、自分にもそんな時があったと懐かしくなり、私も初心を忘れず、クラブ活動や勉強に取り組んでいきたいと思いました。

文化祭実行委員会より

みなさん、こんにちは。
第四十回文化祭実行委員長の高二D組古川愛依（ふるかわあい）です。



始業式で連絡した通り、十五日（月）に文化祭実行委員の募集を締め切りました。たくさんのお応募ありがとうございました。各実行委員会への応募人数を、コミュニティスペースのホワイトボードに掲示しました。

今後は、実行委員会の総会を開き、そこで各委員会の代表者や今年の文化祭のテーマなどを決めていきます。文化祭のテーマは、二十三日の生徒大会で発表しますので、楽しみにしてください。

それでは、自分たちだけが楽しむ文化祭ではなく、お客さんを楽しませ、なおかつ自分たちも達成感を味わえるような文化祭を、私たちと一緒に作りあげましょう。宜しくお願いします。分からないことがあれば、いつでも聞きに来てください！

（実行委員長 古川愛依）

全国大会の結果報告

アーチエリー

決勝トーナメント 一回戦敗退

ベスト十六以上を目
標としていたのですが、
達成することができま
せんでした。この大会



での反省を生かして、夏の全国大会に
向けて頑張りたいと思います。

(高二 藪田真士君)

中学テニス

男子団体 ベスト十六

女子団体 一回戦敗退



クラブオリエンテーション

九日の七限に第一体育館で、新入生
歓迎クラブオリエンテーションを開
催しました。

各団体が自分たちの活動をわかり

やすく、おもしろく
アピールし、それを、
新入生も楽しそう
に聞いてくれてい
ました。企画した生
徒会としても嬉し
く思いました。
フリートーク



〜とある生徒会の日常〜

今年の桜は例年より長く咲いてい
ますが、この桜と秋の菊が、日本の国
花だと言われています。それは、どち
らも日本を象徴し、日本人に愛されて
いるというのが理由で、「桜と菊を日
本の国花とする」という決まりがある
わけではないそうです。

では、桜はいつごろから日本人に愛
されているのでしょうか。奈良時代に
編まれた「万葉集」には、梅について
詠まれた歌が百十首も収められてい
るのに対し、桜の歌は四十三首しかあ
りません。しかし、平安時代に編まれ
た「古今和歌集」を見ると、桜の歌は
七十四首、梅の歌は二十六首と、数が
逆転します。つまり、桜が春の花とな
ったのは、平安時代ごろからというこ
とでしょう。

二週間後には「令和」という時代が
始まりますが、新元号「令和」は「万
葉集」の梅花の歌から名付けられてい
ます。「令」は「美しい」、「和」は「和
やか」という意味だそうです。

その美しく和やかな時代では、「平
成」に成し得なかったことに挑戦して
いきたいと思えます。

(中学書記 樋口)

七号もお楽しみに！